

3.1 リサーチクラークシップ参加学生の筆頭著者論文が PLOS ONE に掲載されました

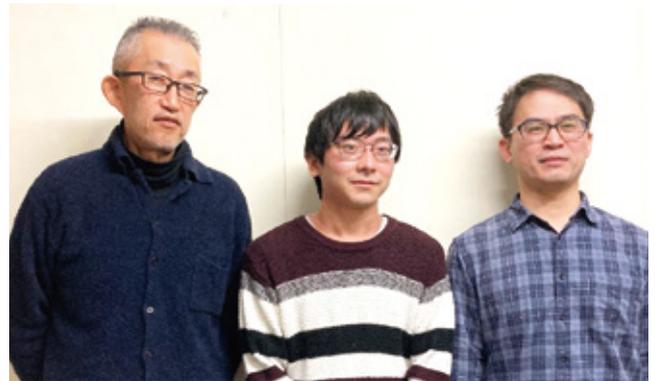
医学科 5年 (解剖学第二) 西村 和也

この度、解剖学第二講座で研究させていただいた成果が米国のオンライン科学誌「PLOS ONE」に筆頭著者として掲載されました。リサーチ以前は基礎研究にあまり興味がありませんでしたが、解剖学第二講座でのリサーチで研究に興味を持ち、その後も医科学研究生として毎日研究室に通い、地道に研究を続け今回の論文発表に至ることができました。本研究は細胞内輸送に関わるタンパク質 SNX25 が炎症に関わる NF- κ B を制御しているという内容であり、実験から論文執筆に至るまで経験することが出来ました。ご指導いただきました和申先生、田中先生をはじめ、解剖学第二講座の先生方に厚く御礼申し上げます。

掲載論文

Nishimura K, Tanaka T, Takemura S, Tatsumi K and Wanaka A. SNX25 regulates proinflammatory cytokine expression via the NF- κ B signal in macrophages.

PLOS ONE. 2021 Mar 1;16 (3) : e0247840. doi: 10.1371/journal.pone.0247840.



左から和申教授、西村さん、田中講師

3.8 大和漢方医学薬学センター委員会を開催しました

大和漢方医学薬学センターは、本学における漢方医学薬学に関する教育・研究・診療活動の充実と県民の健康増進や地域の活性化を推進するため、平成 26 年 1 月に設置されました。

当センターでは、日本東洋医学会専門医・指導医である三谷和男特任教授を中心に漢方専門医を目指す医師との症例検討の実施・医学科学生への講義や漢方セミナーなどを開催しています。

委員会では、令和 2 年度の事業報告、令和 3 年度の事業計画等について検討しました。

医師・薬剤師・看護師・医療関係者の漢方セミナーもオンラインと講義形式のハイブリッドでの開催を予定しております。多くの方々のご参加をお待ちしております。



三谷特任教授



運営委員会の様子

2.25 2.25 3.9 コロナ感染対策オンライン勉強会にて講演しました

ユニバーサルエアデザイン京都が主催するオンライン勉強会にて MBT 研究所 笠原 敬病院教授 (感染症センター長) が講師として講演されました。

ユニバーサルエアデザイン京都は、京都にある株式会社片山工務店による「建築業関係者自らが感染対策の知識を身につけ、それを業務へと反映しよう」という呼びかけのもと全国の企業が集まり結成された団体です。

笠原病院教授は 1 回目の講演では奈良県内のコロナ感染患者数推移に対して奈良医大が行ってきた対応を時系列に沿って解説し、2 回目ではこれまでの企業相談で実施した感染対策事例の紹介やそれらの取り組みを通して学んだことを語られました。

どちらの回でも参加者からは多数の質問が飛び、終始熱心な姿勢がうかがえました。

今後も医学的知識を社会へと還元するための活動を継続して参ります。



寄せられた質問に回答する笠原病院教授